

平成30年度 第2回学校運営協議会 議事録

岐阜市立岐阜商業高等学校

1 名 称 学校運営協議会（第2回）

2 構 成 委 員 安藤 久男 鏡島自治会連合会会長  
竹本 康史 岐阜聖徳学園大学教授  
山内 義孝 (株)サムソンフィクセル社長  
山崎かおり 元PTA副会長（第2回欠席）  
（委員5） 精華中学校PTA会長  
杉本 信康 PTA会長  
学 校 側 大矢 晋 校長  
上田 義広 事務長  
下平 義広 教頭  
浅井 智世 教務主任  
那須 貴 生徒指導主事  
杉山 明宏 進路指導主事  
秋田 和哉 特別活動部長  
今井 哲 商業教育部長

3 目 的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。

4 日時・場所 [日時] 平成31年1月29日（火）13:30～15:00  
[場所] 校長室

5 協議概要

(1) 挨拶（校長）

本日は、各担当がこの1年間の歩みをご報告します。より良い学校運営のために、委員の皆様には、来年度へ向けての忌憚のないご意見をお願いします。

(2) 日程説明（教頭）

(3) 授業見学

情報処理科実習発表会（情報処理科の1・2年生に対し3年生が実習成果を発表）を見学

(4) 学校運営に係る協議

ア 本年度の各部の運営方針、具体的な取組、成果及び課題（本校職員による報告）  
関係分掌長が自己評価報告書、学校要覧及び付属資料を使用し、本年度の運営

方針、具体的な取組、成果及び課題を報告

- ①教務部
- ②生徒指導部
- ③進路指導部
- ④特別活動部
- ⑤商業教育部（デパート課含む）

イ 協議（各委員の評価・意見・感想等）

意見1 「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業」とはどのようなものか。

[回答] 先生が一方的に講義する授業ではなく、生徒が主体的に能動的な学習活動を行う授業のことである。

意見2 「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業」という話があったが、先生方は、実際授業をされてどのようなことに苦勞されているのか。

[回答] 単に生徒を活動させるだけではなく、深い学びに繋げるための活動の在り方を工夫するとともに、その教材を含めた準備・研究が大変である。

意見3 実際に先生方が苦勞して研究・努力をされ、生徒に向き合ってみえるので、教務部の評価Bは厳しい評価だと思う。ただし、先生方の更に改善・向上しようという気持ちの表れが評価のBになっているのだと思うので、今後も、生徒が主体となって活動する分かる楽しい授業となるようご努力願いたい。

意見4 昨年度もこの委員会に参加し、その際にお願ひした地域ボランティアへの参加は、本年度しっかり実践していただいている。また、地域の会合等でも市岐商の評判は非常に良い。学校（特別活動部）の自己評価は厳しいが、もっと良い評価が妥当だと思う。

意見5 本日情報処理科の発表会で作品発表を觀させていただいたが、1人あたりの発表時間が非常に短く、素人の私にはよく理解できなかった。人数を絞る等工夫して時間を作り、もう少ししっかりした発表をさせることも考えていただきたい。

意見6 本年度の就職では、学校の斡旋による就職希望者は全員が合格したという報告を受けた。進学指導も含め、学校としてしっかり支援していただけたと感謝している。

時代の変化とともに仕事も変化している。1つの職場で働いてよしとする時代ではなくなっている。自分のスキルアップのために職場や職種を変えることも重要なことではないかと考える。その点、商業では多くの資格が取れるよう工夫してみえるので、スキルを身に付けて卒業ができる。その商業の特徴を生かし、生徒が将来活躍できるよう支援を続けていただきたい。また、これからの時代は、AIのできる仕事、できない仕事を生徒に研究させることも大切であるので、支援をお願いしたい。

意見7 この地域の小中高の合同会議に出席した際に、市岐商の話題になり「気持ちの良い挨拶がきちんとできる」等、良い評価がなされていた。今後もこの地域の高校として、自信を持って頑張りたい。

意見8 3年の学年集会で、外部講師を招いて労働法について学習されたとの事であるが、商業高校として、保険も含め労働法や商法について学習させることは重要なことだと思う。教育課程表を確認すると、そのような授業は一部の生徒が選択で学習するのみなので、ぜひ多くの生徒が授業で学べるようになると良いと思う。私又は私の知り合いも講師としてお話しできるので、いつでもお声掛けいただきたい。地域連携の一環、地域教育力の活用としてご利用ください。

#### (5) まとめ（校長）

授業を含めた学校運営をより良く進めるためには、課題を見付けることが大切になりますが、先生方の本校での勤務経験が長くなると、課題が見えにくくなってしまいます。本日話題に上がったアクティブ・ラーニングを取り入れた授業も、教員が考えているとおりにうまくいかない要因の一つは、先生方が授業单元ごとに本校の生徒にふさわしい課題を見付け、適切に設定できていないからでもあります。もちろん生徒が自ら課題を見付けることは大切ですが、教員が適切な課題を設定することで、生徒が主体的に能動的な学習活動をする授業が展開し易くなります。先生方が課題を見付ける力を磨き、より良い授業づくりが行えるよう支援したいと思います。

本日は、貴重なご意見をいただくなど充実した協議が行えました。いただいたご意見等は、今後の学校運営に反映させ、「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進したいと思います。引き続き皆様のご協力をお願いします。